

第34回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は新座市に雪辱を許し準優勝に終わりました



第34回埼玉県都市対抗テニス大会が1月25日(土)、26日(日)の日程で大宮第二公園テニスコートで開催されました。2日間寒空の中、選手・スタッフの皆さんに頑張ってくださいましたが、決勝戦で新座市に雪辱を許し、2年連続の全国大会出場はなりませんでした。

【試合結果】

○1回戦、さいたま市はふじみ野市に5-2で勝利しました。

初戦のふじみ野市は、西部地区第4代表で、昨年も一回戦で対戦し苦戦しました。今年も、男子ダブルスの山本・清水ペアと直近負けなだった55才の石川・塩澤ペアで落としましたが、一般女子の河田・大河原選手、ベテラン女子の今岡・小野田選手の活躍で5-2と勝利し、2回戦進出を決めました。

○2回戦は、北葛飾郡に5-0で快勝しました。

2回戦の北葛飾郡は、東部地区第三代表で初戦で深谷市に勝利してきました。今回、初出場となった一般男子の清水君・一般女子の大河原さん、ベテラン男子45歳の中岡・石田ペアも初戦の緊張が取れて伸び伸びプレーし、危なげなく5-0で勝利し、翌日の準決勝進出を決めました。

○2日目の準決勝は、南部でもあつた戸田市と対戦、5-0で勝利し決勝進出を決めました。

2日目の準決勝は、南部予選で対戦した戸田市との再戦となりました。2日目から一般男子に古城さん、女子に金井さんが加わり優勝に向けた戦力が整いました。その、古城・清水ペア、金井・大河原ペア、ベテラン3ペアすべて危なげなく勝利し、昨年の決勝戦の再戦となった新座選に臨みました。

○決勝は昨年同様新座市との対戦となりましたが、ダブルスで4敗し準優勝となりました。

決勝戦は、昨年の雪辱に燃える新座市との対戦となりました。準決勝の川越市戦に僅差で勝利した勢いと、一方で準決勝までの3試合すべてに圧勝した気の緩みと言う訳ではありませんが、相手の気迫に押される展開となってしまいました。ベテラン45才の男女は一勝一敗となりましたが、一般男子の古城・山本ペア、一般金井・大河原ペアは何れも惜敗となり、男女シングルスに繋げるかは55才ダブルスの石川・塩澤ペアにかかりました。新座市ペアも元全日本ベテランのチャンピオンで、先行する相手に必死で喰らいつきタイブレークに持ち込みましたが5-7で力尽き、敗戦が決まりました。

○総括

選手及び役員の皆様、寒空の中2日間大変お疲れ様でした。昨年の全国3位に貢献頂いた金井さん、河田さん、小野田さん、石川さん、塩澤さんに新人の清水君、大河原さんを加えて必勝態勢で臨みましたが、残念ながら準優勝に終わりました。勿論、準優勝も立派な結果で選手の皆さんは良く戦ってくれました。一方で、先の全国大会を見てしまい、心の隙が生まれ、チームを纏め切れなかった監督としての責任を痛感しました。今年は残念ながら、全国大会への出場は叶いませんでしたが、来年はリベンジして全国へのチケットを掴み取れるよう、再度チャレンジしていきたいと思っております。